

ようじえんだより 2019年度4月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

4月主題『ありのままで』

主題聖句：喜び楽しむものとして イザヤ書65章18節

- ☆ 0～2歳児：保育者を通して祈ることを知る。ありのままを受けとめてもらって、安心する。新しく出会った人や環境に親しみを感じ、つながっていく。
- ☆ 3～5歳児：さんびか、祈り、聖書の言葉をきくことを通して神さまと出会う。保育者や友だち、また春の自然と触れ合うことを心地よく感じ、安心して過ごす。保育者は保護者とともに一人ひとりの子どものありのままの姿を受けとめる。保育者は子どもの表情やしぐさ、つぶやきなどから、思いをくみとる。

ありのままを受け入れる？

「ありのままで」「そのままのあなたで」という表現が保育界のみならず、日常的にも違和感なく使われるようになりました。私自身はこの言葉は「弱さや欠点もある自分だけど、神様に守られながら、周囲の人と共に生きていく」という意味を含んだ言葉として、肯定的にとらえています。しかし少なからぬ人が上記の言葉に対して抱く印象として、「それでは努力することや向上心が育たなくなるのではないか」という思いをもつとも思うのです。

努力や向上心は強制できない

近年パワハラという言葉が多く聞かれるようになりました。これはパワー・ハラスメントの略で、主に職場での職務上の地位や人間関係を利用して精神的な圧力や苦痛を与えることを言いますが、これはすべての人間関係において気をつけなければならないことのように思います。特に上の立場に立った時、努力することや向上心を他者に強制することには気を付けるべきだと思います。努力することや向上心をもつこと自体は良いことですが、それは強制されてやるものではないのです。自分で創意工

夫しながら努力し、向上するから意味があり、その結果自信をつけていくことが出来ます。親や上司という立場になった時は、子どもや部下が自ら進んで努力し向上しようとするような“環境”をつくるのが大切です。

子どもの心の成長はジグザグ

いよいよ入園・進級の時期を迎えました。新入園の子どもたちには、知らない世界に放り出され、心細く不安な毎日がしばらく続きます。また昨年度から在園していても、新しいクラスへの進級は大変緊張するものです。子どもも泣きっぽくなったり、怒りっぽくなったり不安定になりがちです。これは『赤ちゃん返り』という一種の退行現象で、小学校進学時にもよく見られる現象です。そんな時には「もうお兄ちゃん(お姉ちゃん)でしょ!」「いつまで泣いているの!」という叱咤よりも、「大丈夫だよ」「お迎えに行くからね」という優しい励ましのほうが有効です。

卒園まで泣き続ける子どもはいません。必ず笑顔で過ごす日がやってきます。その日を信じて、私たちも子どもたちの今の「ありのままの気持ち」を受けとめて歩み始めます。

年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。
旧約聖書 詩編1編3節

園長:久保田愛策